

次号予告

2015年11月号

特集

「在宅看護」ってなんだろう？ 実践に新たな光を当てる 「在宅看護学」の誕生へ

地域包括ケアの要と目される在宅看護。医療依存度の高い人の在宅療養、看取り、まちづくりなど、期待される役割は多岐にわたります。それらは新しいことではなく、すべてこれまでの実践から生まれたもの。法律や制度がない時代でも、「在宅で生きたい・逝きたい」という人の願いを実現するために、現場で試行錯誤された結果が、今の在宅看護をつくっていると言えるでしょう。それをさらに深め、高め、次代の在宅看護をつくっていくために、これまでの実践をふりかえりながら、これからどんな看護が必要なのかを考えます。

在宅看護これまで来た道

実践から生まれた制度と体系を振り返る●山田雅子

【これからの在宅看護を考える】

「地域で看護するとはどういうことか」を

住民と共に考える●吉田千文

多職種連携のなかで見えてきた

地域での看護師の役割●木全真理

医療資源不足の地域で実現する

24時間・365日対応訪問看護●由井千富美

【座談会】

実践を体系化し、新たな実践を育む「学」の役割

在宅看護学の誕生に向けて

●川村佐和子、村嶋幸代、萱間真美、山田雅子[司会]

特別記事

オマハシステム[日本版]の開発

生活者をみる視点を活かし実践を見える化するツール

●長江弘子ほか

編集後記

今回の特集を拝読していくなかで、20年前に肺がんで亡くなった祖父の最期を思い出しました。危篤の連絡を受け、入院先に着いたときにはすでに祖父の意識はなく、その12時間後に亡くなりました。思い出されるのは、亡くなったときよりも、亡くなるまでに定期的・機械的にくりかえされた痰の吸引場面です。当時、高校生ながら、もう逝くのかからそのまま静かにしておけないのかと思いました。今ならば、そして家ならばもっと静かに看取ることができたのだろうか、思わずにいられません。今後、「老衰」といえる穏やかな看取りがより広がっていけばと願います。…小林

対談収録でお邪魔した夏の永源寺はあいにくの雨、しかしそれがなおさら、木々の葉や田んぼの稲をいきいきと輝かせているようでした。元は保健センターの建物だったという永源寺診療所は、そんな緑のなかにありました。病むことも、老いることも、誰の身にも起こることです。それをあたりまえだとして甘受するか、正すべき異常な状態として立ち向かうか。最後の最後には受け入れなければわかっていても、自分や家族の場合は……と考えてみると答えは出せませんでした。あと何十年か生きたらわかるのでしょうか。たくさんの人生の先輩たちに尋ねるような気持ちで編集した号でした。…栗原

訪問看護と介護 第20巻 第10号(通巻232号) 2015年10月15日発行(毎月1回15日発行)

発行:株式会社医学書院 代表者:金原優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo©2015, Printed in Japan

1部定価:本体1,300円+税 年間購読料(税抜,送料弊社負担,年間12冊):12,600円(冊子版)/

15,600円(冊子+電子版/個人)/17,520円(冊子+電子版/共有)/12,600円(電子版/個人)/14,520円(電子版/共有)

販売部:☎03-3817-5659 社内案内:☎03-3817-5600

『訪問看護と介護』編集室:☎03-3817-5787 FAX03-5804-0485 担当:小林・栗原・早田

✉houmon@igaku-shoin.co.jp Twitter @houmonkango

医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp/> ウェブマガジン『かんかん!』 <http://www.igs-kankan.com>

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写,スキャン,デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。

大学,病院,診療所,企業などにおいて,業務上使用する目的(診療,研究活動を含む)で上記の行為を行なうことは,その使用範囲が内部的であっても,私的使用には該当せず,違法です。また私的使用に該当する場合であっても,代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】(出版者著作権管理機構委託出版物)

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は,そのつど事前に出版者著作権管理機構

(☎03-3513-6969, FAX03-3513-6979, ✉info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

※「訪問看護と介護」は,株式会社医学書院の登録商標です。